この家に入りるように

6月のテーマ | 自覚

## 1336号

一九二一— 倫理研究i 究所配 九九九八 する 理 の事今 ことばり現の倫 を山理掲竹 載秋で

今どこにいるのでしょうか?」と尋ねると、親を亡くした人に、「あなたの親や祖先は 「あの世にいます」

でられ であろうか? 大変難 はっきりしている。はたしてどこにいるの 世とは いるのか? たな答えが得 たな答えが得 いようだ。

私たちの肉体を構成している細胞それ自体先の血は正しく自分自身の中に流れている。るとしても、第一、生物学的にみると親祖たとえ親祖先の肉体は今はなくなってい「親祖先は自分自身の中にいる」 のである。これは科学的中にすでに父母があり、 のである。これは科学的にも否定し去中にすでに父母があり、そして祖先がうよりも、もっと身近に、この私の身どこそこに父母があり、祖先がある うよりも、 すでに親祖 先の ものである。 位去ることがあるとい



## 祖先は自分の中にいる

もはみいののの

の親より育ての親」といった表現のなってもよい。霊的意識ともいえようではどとは生まり

いえよう。

尊中一覚 いに生と

自覚であ

自

ってもよい。

丸山竹秋

ではない。己の存在の意義を 等ばねばならない。勿論、偉そうにして尊 中にある親祖先を粗末にするな、というこ 中にある親祖先を粗末にするな、というこ の中にある親祖先を粗末にするな、というこ は、この自覚による親の存在がいかに尊いは、この自覚による親の存在がいかに尊いは、このように、あるいはその血の流れの中によって、さらにその自覚によって、親祖によって、さらにその自覚によって、親祖をたよみがえらせるよすがであり、手親祖先をよみがえらせるよすがであり、手を拝むことである。 ・めることになる。親 ・の仕事・ ・のとは、同時・ ・るとは、同時・ 仕事に打ち込み、その心を他拝の根本は、自分自身の天職はの時に親祖先の存在の意義を同時に親祖先の存在の意義を同時に親祖先の存在の意義をではない。刃論、偉そうにして尊ない。勿論、偉そうにして尊ない。勿論、 の中に親祖先が生人を敬し、愛する込み、その心を他、自分自身の天職

というか、そういっならば、そこに親妇を親とするとかいっ 覚とは生命の いうものが自分自身に入り別った自覚がはっきりする○の家に入ったとか、○○場合、たとえ血のつながり場合、 り魂る〇り